



2020年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年12月10日

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)

上場取引所 東

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 2019年12月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期第2四半期の連結業績(2019年5月1日～2019年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第2四半期	16,387	6.8	370		246		233	
2019年4月期第2四半期	15,336	9.3	2		92		47	

(注) 包括利益 2020年4月期第2四半期 255百万円 (%) 2019年4月期第2四半期 114百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第2四半期	46.33	
2019年4月期第2四半期	9.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第2四半期	38,236	12,436	32.5
2019年4月期	30,832	12,792	41.5

(参考) 自己資本 2020年4月期第2四半期 12,436百万円 2019年4月期 12,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期		0.00		20.00	20.00
2020年4月期		0.00			
2020年4月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年4月期の連結業績予想(2019年5月1日～2020年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,800	2.2	700	40.6	860	36.1	530	40.5	105.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年4月期2Q	5,075,500 株	2019年4月期	5,075,500 株
期末自己株式数	2020年4月期2Q	31,373 株	2019年4月期	31,348 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年4月期2Q	5,044,136 株	2019年4月期2Q	5,044,228 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続いているものの、米中の貿易摩擦が世界経済に与える影響や海外情勢の不確実性の高まりにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

10月1日の消費税増税前には、高額品・日用品等を中心に駆け込み需要が見られましたが、食品業界におきましては、消費者の節約志向は依然として根強く、また人手不足を背景とした人件費や物流費の上昇など、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、お客様の安全・安心に重点をおいた包装米飯及び包装餅製品の安定供給、並びに適正価格での販売に努めることを基本に事業活動を推進してまいりました。

おいしさの追及はもちろんのこと、お客様の消費動向を捉えながら、多様化するニーズに対応可能な生産体制の整備を進めるとともに、全社一体となった営業活動に取り組むことで業績の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は包装米飯及び包装餅製品ともに主力製品を中心に堅調に推移したことから、前年同期比10億50百万円増の163億87百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

利益面につきましては、聖籠工場の新設にともなう売上原価の増加や物流費等の増加に加え、販売増による販売促進費の増加により、営業損失は3億70百万円(前年同四半期営業利益2百万円)、経常損失は2億46百万円(同経常利益92百万円)となりました。また、8月の九州北部豪雨による製品損害を特別損失に計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億33百万円(同親会社株主に帰属する四半期純利益47百万円)となりました。

なお、当社グループは主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期連結会計期間の売上高及び利益が他の四半期連結会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しておりますが、製品分類別の販売動向は以下のとおりであります。

製品分類別の販売動向

(包装米飯製品)

包装米飯製品では、今年6月より稼働を始めた新米飯工場「サトウのごはん聖籠ファクトリー」の竣工を記念して、7月21日～9月20日の期間、NB全商品を対象とした販促キャンペーンを実施するとともに、弊社独自の釜炊き製法をアピールする新テレビCM『サトウのごはん「ふっくら釜炊き篇」』を、同キャンペーンに合わせて全国放映するなど、販売促進に努めました。

また、近年、特に小盛り・大盛りサイズの販売が好調に推移し、容量別の消費者ニーズが高まってきていることから容量別商品の拡充を目的に、9月1日より「サトウのごはん銀シャリ」に“小盛り150g”“大盛り300g”の2アイテムを追加し新発売いたしました。

加えて、日本古来の炊飯方法を忠実に再現した独自の製造技術(厚釜ガス直火炊き)により、電子レンジ2分で家庭と同様の炊き立てごはんを再現できることや、製品名に原料米の産地銘柄を明確に表示していることがお客様の利便性及び安全・安心意識にマッチし、売上高は堅調に推移いたしました。

その結果、包装米飯製品の売上高は110億36百万円(前年同期比7.3%増)となりました。

(包装餅製品)

包装餅製品では、当社グループだけが使用している「ながモチフィルム」(酸素吸収機能をもつ透明な個包装フィルム)の特性を、よりお客様にご理解していただくことを目的に、同フィルムのロゴがおいしいお餅のしるしであることをアピールするテレビCMを継続放映するなど、販売拡大に努めました。

新商品としては、秋以降の需要期に向けて、主に鍋料理にお使いいただくことを想定した「サトウのしゃぶしゃぶもち」や、調理しやすさ食べやすさを追求し、お餅の大きさを弊社従来品よりコンパクトな20gに設計した「サトウの切り餅シングルパックミニ」「サトウのまる餅シングルパックミニ」を9月1日より発売いたしました。

また、鏡餅については、消費者の皆様により最適な商品を選んでいただけるように、「サトウのサッと鏡餅」シリーズに新たに1,000gタイプ・400gタイプを加えるなどのアイテムの充実や、一部商品のパッケージにリニューアルを図るなど、年末商戦に向けた取り組みを行いました。

その結果、包装餅製品の売上高は53億39百万円(前年同期比6.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は182億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ63億43百万円増加いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が8億44百万円、仕掛品が2億99百万円それぞれ減少したものの、商品及び製品が42億74百万円、受取手形及び売掛金が27億18百万円増加したことによるものであります。

固定資産は199億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億61百万円増加いたしました。これは主に聖籠工場の新設にともない有形固定資産が10億36百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は382億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ74億3百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は176億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ76億38百万円増加いたしました。これは主に、流動負債のその他(未払金、未払法人税及び未払消費税等)が12億20百万円減少したものの、運転資金としての短期借入金が85億円増加したことによるものであります。

固定負債は81億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億21百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が1億69百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は257億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ77億59百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は124億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億56百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失2億33百万円及び剰余金の配当1億円により利益剰余金が3億34百万円、その他有価証券評価差額金が42百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は32.5%(前連結会計年度末は41.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月期決算短信(2019年6月10日公表)において公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	349,847	194,532
受取手形及び売掛金	6,155,029	8,873,695
商品及び製品	1,790,732	6,065,385
仕掛品	630,586	331,312
原材料及び貯蔵品	2,899,152	2,055,148
その他	106,702	756,992
貸倒引当金	△4,830	△6,770
流動資産合計	11,927,221	18,270,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,424,128	5,966,412
機械装置及び運搬具(純額)	4,516,500	6,825,488
土地	2,346,415	2,346,415
その他(純額)	4,318,354	503,788
有形固定資産合計	14,605,399	15,642,106
無形固定資産	98,575	108,906
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	2,459,818	2,445,294
その他	1,765,351	1,794,602
貸倒引当金	△26,020	△26,020
投資その他の資産合計	4,199,150	4,213,877
固定資産合計	18,903,125	19,964,889
繰延資産	2,035	814
資産合計	30,832,382	38,236,001

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,197,854	1,452,244
短期借入金	1,050,000	9,550,000
引当金	399,179	503,810
その他	7,361,625	6,141,020
流動負債合計	10,008,659	17,647,076
固定負債		
長期借入金	6,653,563	6,822,765
引当金	60,414	55,799
退職給付に係る負債	1,020,043	999,318
その他	296,737	274,314
固定負債合計	8,030,758	8,152,197
負債合計	18,039,418	25,799,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	11,430,384	11,095,802
自己株式	△36,167	△36,259
株主資本合計	12,443,992	12,109,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	603,540	561,240
退職給付に係る調整累計額	△254,568	△233,830
その他の包括利益累計額合計	348,972	327,409
純資産合計	12,792,964	12,436,727
負債純資産合計	30,832,382	38,236,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)
売上高	15,336,981	16,387,203
売上原価	9,346,034	10,258,368
売上総利益	5,990,947	6,128,834
販売費及び一般管理費	5,988,883	6,498,880
営業利益又は営業損失(△)	2,063	△370,045
営業外収益		
受取配当金	8,231	8,870
受取賃貸料	94,730	97,264
副産物収入	34,217	46,537
その他	72,719	65,379
営業外収益合計	209,898	218,051
営業外費用		
支払利息	34,940	19,905
賃貸費用	41,083	46,732
その他	43,789	27,540
営業外費用合計	119,812	94,178
経常利益又は経常損失(△)	92,149	△246,172
特別利益		
固定資産売却益	5,670	—
特別利益合計	5,670	—
特別損失		
災害による損失	—	63,937
特別損失合計	—	63,937
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	97,819	△310,109
法人税、住民税及び事業税	81,696	18,971
法人税等調整額	△30,968	△95,381
法人税等合計	50,727	△76,410
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,092	△233,699
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	47,092	△233,699

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,092	△233,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△179,689	△42,300
退職給付に係る調整額	18,436	20,737
その他の包括利益合計	△161,253	△21,562
四半期包括利益	△114,161	△255,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△114,161	△255,261
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。